

除草剤ジカンバ及びグルホシネート耐性トウモロコシ MON87419 系統（飼料）
に係る食品健康影響評価について

1. 経緯

遺伝子組換えトウモロコシ「除草剤ジカンバ及びグルホシネート耐性トウモロコシ MON87419 系統」（以下「MON87419 トウモロコシ」という。）については、平成 28 年 8 月 22 日付けで遺伝子組換え飼料の安全性審査の申請があったことから、食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項の規定に基づき、食品安全委員会に食品健康影響評価を依頼するものである。

2. 評価依頼品種の概要

MON87419 トウモロコシには、除草剤ジカンバ及びグルホシネートに対する耐性を付与するため、改変 *dmo* 遺伝子及び *pat* 遺伝子が導入されている。

Stenotrophomonas maltophilia 由来の改変 *dmo* 遺伝子によって産生される改変 MON87419 DMO タンパク質は、除草剤ジカンバを除草活性のない化合物に変換することで、植物に除草剤ジカンバに対する耐性を付与する。

Streptomyces viridochromogenes 由来の *pat* 遺伝子によって産生される PAT タンパク質は、除草剤グルホシネートを除草活性のない化合物に変換することにより、植物に除草剤グルホシネートに対する耐性を付与する。

3. 利用目的および利用方法

MON87419 トウモロコシの飼料としての利用目的や利用方法は、従来のトウモロコシと相違がない。

4. 諸外国における申請等

申請国	申請・確認年月	申請先
オーストラリア・ ニュージーランド	2015 年 8 月申請	オーストラリア・ニュージーランド 食品基準機関 (FSANZ)
カナダ	2016 年 2 月確認終了	カナダ食品検査庁 (CFIA)
米国	2016 年 3 月確認終了	米国食品医薬品局 (FDA)